

	項目	状態
身 体	麻痺	なし
	関節の動き	可動の制限なし
	褥瘡の有無	なし
	視力	老眼、老眼鏡使用
	聴力	軽度な難聴あり、大きな声なら聞こえる
動 作	寝返り	サイドレールに掴まればできる
	起き上がり	できない
	立ち上がり	できない
	座位保持	できない
	立位保持	できない
	歩行	できない
	移乗	安静の為行っていない
	移動	安静の為行っていない
食 事	食事行為	ベッド上30度で2口程度の食事介助
	水分の状況	ポタージュ状のとろみにて摂取可能
	嚥下の状況	ベッド上ギャッジアップで飲み込み可能
排 泄	排泄行為	おむつ
	尿	尿意あり
	便	便意あり
整 容	洗面行為	ホットタオルにて清拭
	体を洗う行為	ベッド上にて清拭
	口腔ケア	スポンジブラシ使用。うがいはできない
	洗髪	ベッド上にて洗髪器使用
	整髪	介助
	爪切り	介助
	衣類着脱	介助にて行うも日により協力動作は見られる
コ ミュ ニ ケー ション	日常の意志決定	食事について「好き・嫌い」の意志決定できる
	指示への反応	できる
	記憶・理解	物忘れがある
	意志の伝達	できる

	項 目	状 態
調 理	献 立	できない
	切 る	できない
	炒める・煮る	できない
	味 付 け	できない
	盛 り 付 け	できない
洗 濯	洗 う	できない
	干 す	できない
	た た む	できない
	片 付 け る	できない
買 い 物	品 物 選 び	できない
	支 払 い	できない
	購 入 品 の 片 づ け	できない
掃 除	掃 く	できない
	拭 く	できない
	整 理 整 頓	できない
縫 物 補 修	糸 通 し	できない
	縫 う	できない
	修 復	できない
	針 の 管 理	できない
金 銭 管 理	日 常 の 金 銭 管 理	できない
	通 帳 管 理	できない
	支 払 い	できない
電 話	掛 け る	できない
	出 る	できない
通 院	受 診	できない
	処 方 箋	できない

事例の概要

① 基本情報

氏名	吉田玲子
生年月日	大正 14 年 5 月 1 日 94 歳
性別	女性
要介護度	要介護 5
障害高齢者自立度	C 2
認知症高齢者自立度	Ⅲ

② 生活状況

- ・高校を卒業後自動車会社に勤務。22歳で結婚をして長女を授かるが夫は病死した。27歳の時、税理士の男性と再婚し長男を授かる。長男は夫の事務所を継ぎ、長女は近所に嫁いでいる。本人は、夫の会計事務所でお茶出しや掃除等を手伝っていた。5年前、ご家族と居酒屋で食事をしていると急に胸の痛みを訴え、総合病院に救急搬送されて心房細動、心不全の診断で入院となる。入院中に認知症を発症した。夫も体調を崩し、在宅生活の継続が難しくなり介護付き有料老人ホーム入居となった。両膝変形性膝関節症の為入所時から車いすで移動、食事、排泄は自力で行っていた。施設内のトイレで尻もちをついていたところを発見され、かかりつけ医に受診すると低値の鉄欠乏性貧血が判名した。その後喘息発作が発生し、ひどい喘鳴と息切れでベッド上での安静となった。日々もうろうと過ごしており食事、水分の摂取は難しくなっているが、様子をみながら言葉をかけると、味わうように2匙ほど口にする時もある。家族は積極的な治療は望まず、痛みと苦痛の緩和でその人らしく穏やかに過ごす対応となった。

③ 健康状態等

- ・高血圧 ・心房細動 ・心不全 ・認知症 ・両膝変形性膝関節症
- ・30歳代の頃喘息の既往があった。

④ 趣味・好む活動

- ・カラオケ
- ・好きだった音楽をCDで聞き過ごされている。
- ・若い頃はお酒が好きだった。
- ・ホーム内の忘年会や納涼祭のノンアルコールビールは喜んで飲まれた。
- ・言葉使いが上品で身だしなみはいつもきちんとされていた。

⑤ 家族構成

- ・弟と二人兄弟。2歳年下の夫と長男夫婦と孫の6人暮らし。長女は同じ町内に嫁いだ。
- ・面倒見がよかったので孫たちや姪、甥等がよく面会にこられた。

⑥ 使用福祉用具

- ・エアーマット

⑦ 生活習慣

- ・おしゃれで基礎化粧品と口紅をつけていた。

⑧ サービス利用状況

- ・有料老人ホームで生活 訪問マッサージの施術を受けていた（2回／週）

⑨ サービス利用中の様子

- ・入所時から転倒直前まで、毎日家族のことを気にかけて、職員に口癖のように「いつ家の者が来ますか、連絡しなくても来てくれますか。」と、多い時は、1時間に10回程尋ねることもあった。ベッド上で安静になっても、かすかな声で、面会中の家族にも尋ねている。食事、排泄は、時間を要するも、ベッド上で行っている。時折、強い喘鳴がある。もうろうとした意識の中で、何回もおむつの中で行っていいのか尋ねることがある。最近では、ベッドの足元を指差し「家の者が来てくれたねえ」とほほ笑んでいることがある。体調の良い時は、鼻歌を歌っている。